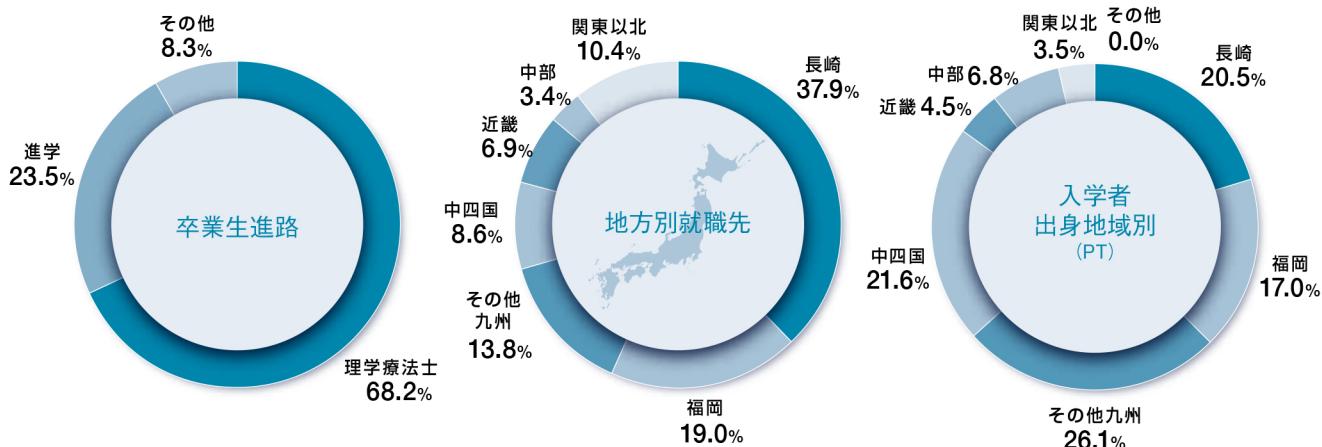


卒業後の進路



過去 5 年の実績



活躍する卒業生

患者さんの不安に寄り添い、笑顔で退院へ



村田優衣
重工記念長崎病院 理学療法士
理学療法学専攻 18 期生（2022 年度卒業）

現在、私は急性期病院で勤務し、主に整形外科・内科で入院された患者さんを担当しています。まだまだ知識不足で上手くリハビリを進めることができず悩むこともあります。先輩方に助言をいただきながら、多くの経験を積み、日々自己研鑽に励んでいます。入院中の患者さんは様々な不安を抱えいらっしゃいます。一人ひとりの思いを汲み取り、精神的にサポートすることも私たち理学療法士の仕事だと思っています。笑顔で退院される姿がとても嬉しい、とてもやりがいのある仕事です。大学での定期試験や実習、国家試験は大変でしたが、同期と一緒に乗り越えた日々は今では良い思い出となっています。人生に一度の大学生活をぜひ楽しんでください。

理学療法の可能性を探求し、重症患者の未来を支える

福原遼太
長崎大学医歯薬学総合研究科 大学院生
理学療法学専攻 19 期生（2023 年度卒業）



私は現在大学院の修士課程に進学し、重症患者さんに対する理学療法について研究しています。大学に入学するまでは大学院への進学について考えたことはなかったですが、臨床実習を通して集中治療領域の理学療法に興味を持ち、知識と経験を身につけるために進学を選びました。現在は研究室に所属し、経験豊富な先生や先輩方とともに恵まれた環境で研究・勉学に励んでいます。「理学療法」と一口に言っても関連する領域は広く、学ぶことはたくさんあります。臨床・研究のどちらに力を入れるか?どんな患者さんを対象とするのか?選択によって目指す道は大きく変わります。大学での学びを通して、自分の興味が湧く分野を探してみてください。理学療法士免許を取得してからも勉強は続きます。生涯学習!好きなことを思い切り探求してください。